

外国人と共に防災を学ぶ、 地域の防災セミナーに参加しました

野中泰子（国際交流部会）

5月12日(日)、「外国人にもわかりやすい地域住民のための防災セミナー」が公益社団法人習志野青年会議所の主催で開催され、国際交流部会がNI-Youthと共に協力しました。

セミナーは、

- ①講演：日本の地震の特徴、地震発生時の対応、災害説明
- ②防災グッズ案内と非常食試食：家庭で利用できる最新グッズの案内、お湯や水で作れるレトルト食品の試食
- ③実演：家庭にあるレジ袋を使って三角巾・おむつ・簡易トイレを作る
- ④地震体験：起震車に乗り実際に起きた地震の揺れを体験

の4種類のブースで構成されました。

英語、中国語、ベトナム語、日本語を母国語とする参加者は、4つのグループに分かれて各ブースを回りました。在住外国人に対し安全で安心な生活を支援する活動を推進する国際交流部会からは、部会員とNI-Youthの大学生や高校生のボランティアが受付、各ブースのサポート、通訳を担当しました。ボランティアと参加者合わせて当日は50名のイベ

ントとなりました。

セミナーの最後の成果発表では、外国人の参加者からは「日本の地震を含む災害について勉強ができ、今後の生活に生かせる」日本人からは「最新の情報で学ぶことが多かった」などの感想がありました。今後、市内在住外国人の増加が予想される中で住民同士が互いに助け合えるかということでは、「災害が起こる前に、地域で十分コミュニケーションを取って防災環境を整えて行くことが大切だ」との話がありました。

今回私達ボランティアは参加者の方と共に体験しながら、日本が自然災害大国として日々防災対策を進化させていることを学ぶことができました。私は通訳として外国人参加者の方が防災への理解を深めていくことに喜びを感じました。同時に、もっと多くの方にこのような知識を広める活動が必要であると改めて強く思いました。

国際交流部会の国際交流サロンの活動などを通じ、国籍や人種を超えて地域で助け合えるネットワークづくりのお手伝いを目指していきたいと思えます。



多くの参加者が初めて起震車を体験



さまざまな防災グッズを使い方も詳しく紹介